

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表済事故において、製品に起因して  
生じた事故かどうか不明であると判断した案件について

平成21年6月5日  
経済産業省商務情報政策局  
製品安全課製品事故対策室

消費生活用製品安全法(昭和48年法律第31号。以下「消安法」)第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故に係る公表において、製品起因か否かが特定できていない事故として公表した案件のうち別紙については、消費経済審議会製品安全部会「平成21年度第1回製品事故判定第三者委員会」における審議の結果、原因究明調査を行ったものの製品に起因して生じた事故かどうか依然として不明であると判断したので、製品安全に資する情報提供の観点から、不明の理由を付して公表することとします。

なお、事故原因は不明であるため、今後の事故の発生について注視し、必要に応じて対応を行うこととしています。

詳細は別紙のとおりです。

【参考】 消安法

(主務大臣への報告等)

第35条

消費生活用製品の製造又は輸入の事業を行う者は、その製造又は輸入に係る消費生活用製品について重大製品事故が生じたことを知ったときは、当該消費生活用製品の名称及び型式、事故の内容並びに当該消費生活用製品を製造し、又は輸入した数量及び販売した数量を主務大臣に報告しなければならない。

## 原因究明調査を行ったが、製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した案件

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した理由
1 A200700761	平成19年12月10日	平成19年12月27日	電気こたつ	KDK-1025L	ユアサプライムス株式会社	火災	当該製品付近から出火する火災が発生した。	福島県		調査の結果、残存していた当該製品の電気部品には発火の痕跡は確認されなかったが、事故品は焼損が著しく、現場から回収できなかった部品があり、出火元も含め、原因の特定には至らなかった。
2 A200700776	平成19年12月1日	平成19年12月28日	エアコン(室外機)	RAS-281EAD	東芝キャリア株式会社	火災	ベランダの当該製品付近から出火する火災が発生した。	栃木県		調査の結果、残存していた当該製品の内部部品から発火の痕跡は確認されなかったが、事故品は焼損が著しく、出火元も含め、原因の特定には至らなかった。
3 A200700983	平成20年2月5日	平成20年2月15日	テレビ(ブラウン管型)	VT-21FS4	シャープトレーディング株式会社	火災	当該製品付近が出火元と思われる火災が発生した。	埼玉県		調査の結果、焼損状況から外部から焼損した可能性が考えられるが、当該製品の焼損は激しく原形を留めていない状態であり、出火元も含め、原因の特定には至らなかった。
4 A200700985	平成20年2月6日	平成20年2月15日	電池式携帯電話充電器	アマゾネスBaby専用付属乾電池	株式会社センチュリー	火災	当該製品に付属されていた乾電池を保管していた引き出しを床に落下させてしまい、元に戻し、しばらくすると、引き出しから音がして出火した。	東京都		調査の結果、当該製品の電極を保護するキャップが外れていたことから、外部の金属部に電極が接触し、外部短絡によって発火した可能性が考えられたが、焼損しており、落下や保管状況がどのように影響したか不明であり、原因の特定には至らなかった。 また、本体及び取扱説明書には、保管する場合等には端子部を絶縁すること及びショートによる発熱について警告している。 なお、同等品による落下や外部短絡試験では内蔵されている安全装置が正常に機能し再現しなかった。
5 A200701017	平成20年2月4日	平成20年2月21日	電子レンジ	MJ-50HL5	LG電子ジャパン株式会社	火災	当該製品で冷凍食品を解凍していたところ、庫内より出火した。	東京都		調査の結果、冷凍食品が過加熱となったことにより発火した可能性が考えられた。 事故原因は、使用者が操作を誤って時間設定を長くしすぎたこと、又は、タイマーが途中で止まることがあったとの使用者からの情報があったことから、タイマーの一時的な故障で連続加熱状態となった可能性も考えられたが、タイマー動作の再現試験では再現されず、原因の特定には至らなかった。
6 A200701019	平成20年1月19日	平成20年2月21日	テレビ(ブラウン管型)	TH-25FA3 又は TH-25FB3	松下電器産業株式会社(現 パナソニック株式会社)	火災	火災が発生し、現場に当該製品があった。	奈良県	A200700909と同一事故	調査の結果、残存していた電気部品には発火の痕跡は確認されなかったが、事故品は焼損が著しく、現場から回収できなかった部品があることから、出火元も含め、原因の特定には至らなかった。
7 A200701066	平成20年2月21日	平成20年2月29日	充電器(電動工具用)	CH-24V	ボッシュ株式会社	火災	自動車のシガーソケットにDC/ACコンバーターを介して、当該製品にバッテリーを装着したままにしておいたところ、当該製品が溶けていた。	兵庫県		調査の結果、当該製品内部の充電端子が短絡したためと判断された。 しかしながら、短絡の原因については、取扱説明書で禁止している付属のスプリングでバッテリーを固定せずに充電したまま、しばしば車で走行していたことから、振動により繰り返し充電器の端子部にストレスが加わり当該端子部が損傷したこと、製造上の不具合により端子間が適切に絶縁されていないことが考えられたが、当該部が焼失しているため、原因の特定には至らなかった。

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した理由
8	A200701155	平成20年3月5日	平成20年3月21日	電子レンジ	MJ-50HL5	LG電子ジャパン株式会社	火災	冷凍食品を解凍するために、当該製品のタイマーを15分にセットし、スイッチを押したまま目を離れたところ、当該製品が燃えているのを発見した。当該製品と冷蔵庫及び壁が焼損した。	福島県		調査の結果、冷凍食品が過加熱となったことにより発火した可能性が考えられた。事故原因は、使用者が操作を誤って時間設定を長くすぎたこと、又はタイマーの一時的な故障で連続加熱状態となった可能性も考えられたが、焼損が著しいため、原因の特定には至らなかった。
9	A200701169	平成20年3月9日	平成20年3月26日	電気がま	SR-IHWP10	松下電器産業株式会社(現 パナソニック株式会社)	火災	当該製品付近から出火する火災が発生した。	岡山県		調査の結果、残存していた電気部品には発火の痕跡は確認されなかったが、事故品は焼損が著しく、当該製品付近から発火した可能性も考えられ、出火元も含め、原因の特定には至らなかった。
10	A200701184	平成20年3月12日	平成20年3月31日	クリップライト	CR40	株式会社ヤザワコーポレーション	火災	当該製品付近が出火元と思われる火災が発生した。	大阪府		調査の結果、可燃物接触による発火の可能性が考えられるものの、事故品は焼損が激しく、現場から回収されなかった部品もあることから、出火元も含め、原因の特定には至らなかった。
11	A200701186	平成20年3月25日	平成20年3月31日	精米機	GL-3	マルマス機械株式会社	火災	農作業小屋に設置されていた当該製品付近から出火する火災が発生した。	福井県		調査の結果、残存する当該製品の内部部品には発火の痕跡は確認されなかったが、当該製品は焼損が著しく、焼失している部分が多いことから、出火元も含め、原因の特定には至らなかった。
12	A200800084	平成20年4月3日	平成20年4月23日	延長コード	HS-T6S6C2M 又は TS-T6S6C3M	株式会社オーム電機	火災	観賞用水槽付近から出火した火災が発生した。	福岡県		調査の結果、当該製品には、ポンプ、ヒーター、ろ過器が設置されていたが、これらの製品は焼損が激しく、これらの製品はメーカー名及び発火の痕跡は確認できなかった。当該製品は、一部が焼損しており、溶融痕がみられたが、一次痕であるか識別できないため、原因の特定には至らなかった。
13	A200800197	平成20年5月19日	平成20年5月28日	乗車玩具	乗用玩具バギー	株式会社小原製作所	重傷1名	施設の戶外で子供が当該製品で遊んでいた際に、転倒し、親指の爪を剥がす怪我を負った。	兵庫県		当該事故は直接目撃されていないが、当該製品の押手棒下部の隙間に子供の親指が入り怪我をした可能性があるとの申し入れがあり調査を行った。調査の結果、転倒時にどのような状況で爪を怪我したのか、原因の特定には至らなかった。当該製品の押手棒下部には、順手に持った場合、人差し指から小指までが入りうる隙間があるが、怪我をした親指は、入りづらい形状であった。なお、ケースには、戶外での使用禁止の表示が記載されていた。
14	A200800359	平成20年7月2日	平成20年7月7日	液晶ディスプレイモニター	17JN1-W	株式会社iiyama	火災	当該製品周辺から出火する火災が発生した。	栃木県		事故当時、当該製品の電源スイッチはオフであり、待機時の微弱な電力が通電していただけであることから、電気的な要因によって発火した可能性は低いと考えられるものの、焼損が著しく、出火元も含め、原因の特定には至らなかった。
15	A200800419	平成20年7月2日	平成20年7月23日	電気洗濯乾燥機	ES-E60-W	エレクトロラックス・ジャパン株式会社	火災 軽傷1名	住宅を全焼する火災が発生し1名が軽傷を負った。事故現場に当該製品があった。	福岡県		調査の結果、製品内部に出火につながる痕跡はみられず、外装鋼板の内部より外部の方が焼損していたことから、外火による可能性が高いと思われるが、事故品の焼損が著しく、回収できなかった部品もあることから、出火元も含め、原因の特定には至らなかった。

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した理由
16	A200800444	平成20年7月21日	平成20年7月31日	自転車	26型自転車基本型 オートライト付・アイホリ-	株式会社良品計画	重傷1名	当該製品で下り坂を走行中に曲がり角でハンドルを切った際、ハンドルのみが動き転倒した。	山梨県		調査の結果、ハンドルステムの締め付けが不足していたため、走行中にハンドルステムが前ホークに対して位置ずれを生じ、転倒したもの。 ステムの締め付け不足は当初からのものか、使用者によるものか特定できなかったことから、原因の特定には至らなかった。
17	A200800652	平成20年9月21日	平成20年10月1日	テレビ(ブラウン管型)	KV-36DX750	ソニーイーエム シーエス株式会社	火災	家人が外出中に当該製品周辺が焼損する火災が発生した。	福岡県		調査の結果、出火時、事故品の主電源は切られており、主電源が切れている状態で通電されている基板部には発火の痕跡は無く、事故品から出火した可能性は低いと考えられるが、現場の状況から他に出火元となるものは見当たらなかったことから、原因の特定には至らなかった。